

(様式1)

学校名	南会津郡只見町立只見小学校	校長	吉野 徹
住所	南会津郡只見町大字只見字上ノ原1735-1		
TEL	0241-82-2241	ホームページアドレス	http://kir523528.kir.jp/?page_id=35

只見学 ～海とつながる只見町～

取組の概要

本校では、将来の只見を担う子供たちを育てるために、ふるさと只見のよさを再発見する学習、「只見学」を進めてきました。また、近い将来、国道289号全線開通に伴い、山間部の只見が人・もの・文化の面において、日本海とぐっと近くなることが予想されます。そこで、「只見学」を海とのつながりを意識した体験的・探究的な学び「海洋教育」となるよう展開しています。

内 容

「海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する」といった海洋教育の視点を意識して、以下のような体験的・探究的活動を行いました。



田子倉湖散策

5月、全校生でモーターボートに乗り、普段は行くことのできない田子倉湖の奥まで散策しました。5月末になってもまだ残っている、雪崩による大きな雪の塊や湖水上からしか見ることのできない「アイヨシの滝」を見たり、湖中央から只見三山（浅草岳・会津朝日岳・蒲生岳）を一望したりしました。ふるさと只見のよさを再発見するとともに雪や尽きることなく流れ落ちる滝の水の源や行く末について興味・関心を持つことができました。

6月、これも全校生で工事中の国道289号、通称「八十里越」を特別に通らせていただき、新潟県三条市を抜け、日本海へと行きました。只見川の水が注ぐ日本海で、親子一緒に地引網体験をしました。海の恵みを得ることの大変さに気付いたり、海の恵みへの感謝の気持ちや海を守るためにふるさと只見の自然を守ろうとする気持ちを高めたりすることができました。



地引網体験



郷土料理体験

各学年においても、それぞれにテーマを掲げ、体験的・探究的活動を行っています。4年生は、食を通した海とのつながりを学習しています。5月、学習のスタートにあたり、地域の古民家レストランで郷土料理を食べました。メニューの中に、ニシンの山椒漬けがあることに気付いた子供たちは、「昔、海から遠い只見町にどうやって魚を運んできたの?」という疑問をいただきました。今後更に追究していきます。

作成

2018年7月

